

編集後記

パリオリンピックも終盤の8月8日に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました。地震への備えを見直すきっかけになったのではないのでしょうか。また、この臨時情報が要因のひとつとも言われている令和の米騒動も発生し、依然として米の品薄状態が続いています。本号が発行される10月下旬には、店頭に新米が十分並んでいることを願うばかりです。

さて、10月号のテーマは「エネルギー・エネルギー施設」です。我が国は、2030年度の温室効果ガス46%削減(2013年度比)、2050年カーボンニュートラルの実現という国際公約を掲げています。建設業においても、脱炭素関連の取り組み、再生可能エネルギーの利用、水素を用いた脱炭素化、住宅・建築物の省エネ対策や蓄電池の利用など、GXに向けた様々な取り組みが行われているところです。

巻頭言を東京理科大学の佐々木信也教授にお願いしたところ、カーボンニュートラル社会実現に向けた“ものづくり”の視点から、サプライチェーン排出量削減に対する考え方や「GHG（温室効果ガス）プロトコル」に則った排出量算定方式に

は未解決課題が多いため今後、各業界団体の積極的な取り組みが重要となることをお示し頂きました。

行政情報は、国土交通省から「国土交通省における環境政策の動向・取組」と「建設施工分野におけるカーボンニュートラルに向けた取組」の2件、農林水産省からは「バイオマス活用に向けた取組と今後の展望」について、それぞれ紹介を頂きました。

特集報文は、「水素系溶断ガス」、「下水熱を利用した低炭素まちづくり」の紹介や、建築物のZEB化や水素利用、建設現場におけるCO₂モニタリングシステム、さらにはカーボンネガティブコンクリートの活用などについて、現状と課題を述べて頂きました。また、GX建機やSEP型多目的起重機船について、特徴や構造、仕様などについて詳細に説明を頂きました。

交流のひろばでは、JR東日本グループのサステナブルな社会の実現と、地域や社会への貢献を目指す取り組みについて、貴重なお考えを紹介頂きました。

最後に、ご多忙にもかかわらず、ご寄稿頂きました執筆者の皆様やご尽力を頂きました関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。本号が建設産業の更なる魅力化、成長へ繋がる一助となれば幸いです。ありがとうございました。

(河原・松本)

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
中岡 智信	渡邊 和夫
見波 潔	

編集委員長

中野 正則 日本ファブテック(株)

編集委員

吉田 真人	国土交通省
大津 太郎	農林水産省
内海 友介	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
河原 圭司	鹿島建設(株)
赤坂 茂	大成建設(株)
藤井 攻	清水建設(株)
桐山 茂雄	(株)大林組
出口 明	(株)竹中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
松本 清志	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
加取 新	鉄建建設(株)
副島 幸也	(株)安藤・間
松澤 享	五洋建設(株)
那須野陽平	東亜建設工業(株)
佐藤 裕	日本国土開発(株)
丑久保吾郎	(株)NIPPO
室谷 泰輔	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン
花川 和吉	日立建機(株)
丹治 雅人	コベルコ建機(株)
漆戸 秀行	住友建機(株)
大竹 博文	(株)加藤製作所
田島 良一	古河ロックドリル(株)
鈴木 健之	施工技術総合研究所

事務局

(一社)日本建設機械施工協会

11月号「道路特集」予告

・令和6年能登半島地震による道路構造物の被害と技術基準 ・道路政策における技術研究開発 ・道路橋の床版取替を高速で行う施工システム ・首都高初のドローンを活用した長大橋の自動点検に向けた実証実験の実施 ・構造物の長寿命化を目指し、さびにくい新たな凍結防止剤の導入 ・アスファルト舗装施工情報における一元管理システムの開発 ・東名リニューアル工事にて施工シミュレータ「GEN-VIR®」を活用 ・画像を用いた球体マーカー検知および自動停止機構の開発 ・路面切削機CRP-100VI 周囲安全システム ・アスファルトフィニッシャの遠隔操作技術の開発 ・アスファルトフィニッシャーの自動化 ・施工現場の各プロセスの調和へ向けたプラットフォームの構築 ・走行中EVにリアルタイムで給電できる無線給電道路「TiPower Road」の開発 ・アスファルトプラントでの水素燃料利用 ・フル電動式4トンコンパインドローラの開発

【年間定期購読ご希望の方】

- ①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。
②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえFAXをお送りください。

詳しくはHPをご覧ください。

年間定期購読料(12冊) 10,032円(税・送料込)

建設機械施工

第76巻第10号(2024年10月号)(通巻896号)

Vol.76 No.10 October 2024

2024(令和6)年10月20日印刷

2024(令和6)年10月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 金井道夫

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <https://jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154

電話 (0545) 35-0212

北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8

電話 (011) 231-4428

東北支 部 〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-4-18

電話 (022) 222-3915

北陸支 部 〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1

電話 (025) 280-0128

中部支 部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10

電話 (052) 962-2394

関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4

電話 (06) 6941-8845

中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22

電話 (082) 221-6841

四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22

電話 (087) 821-8074

九州支 部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30

電話 (092) 436-3322

本誌上への
広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-21-5 井手口ビル 4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中